

# 優秀賞

## 理系漢字教育士、小学校の教壇に立つ —五年生女子児童からのオファーに—



奈良県生駒郡斑鳩町 丹羽 孝氏

多くのベテラン先生方とは違って、教育経験が乏しい私を受賞させて頂いたことを大変うれしく思っております。私は漢字教育士として活動するに当り、教育経験は乏しくとも今までの自分の人生や仕事での経験と漢字教育士活動を融合すれば、必ずや新しい展開があると考え実行してまいりました。今回はそのことが評価され、活動する全国の漢字教育士を代表して賞が頂けたものと考えています。受賞を糧にし、これからもより良い漢字・日本語教育を目指し、研鑽を積んでまいります。

### 1 漢字教育士冥利

定年後、立命館大学の講座を受講して漢字教育士になった平成 25 年度から、地域の子供夏祭りで漢字カルタを使った「漢字縁日」という催しや、小学生の放課後教室などを継続的に実践。参加していた 5 年生の女子児童から「教室へ話に来て下さい。」と漢字指導者冥利につきるオファーを得た。

#### 2—1. 古代文字表示システムの開発

電器メーカーのエンジニア時代に磨いたプログラム技術を「漢字指導」に活かすべく、「常用漢字」「人名漢字」を含む 2500 文字の「甲骨文」「金文」、「篆文」が表示できる古代文字表示システムを独自に開発。教材作りや教室の TV 画面に児童の名前を古代文字で表示する等でフル活用。

ビィアン  
適



古代文字表示システムで表した古代文字の教材



#### 2—2. 放課後教室・国語の授業 —漢字教育士として—



放課後授業では 4 年生～6 年生の児童を対象に、凸凹の書き順や画数の多い字、創作漢字、児童の名前の古代文字、漢字の系列の話等、漢字教育士としての知識を活かし「面白い漢字の話」を伝えた。



5 年生の国語の授業では、ゲストティーチャーとして「漢字の授業」を実践。「龍」のイラストを黒板に描いて児童の興味、関心を引き付け、日本地図や数字を絡めて話したりして、漢字を身近に感じられるよう工夫。江戸時代の創作漢字の話（天橋立等）や、漢字の覚え方（「鬱」リンカーンはアメリカンコーヒを 3 杯飲んだ）等も指導。

### 3. 実践をととして

国語の授業の翌日、頂いた感想文集を分析。突出して高い棒は、「授業が楽しかった」児童数。授業満足度 97%。授業後、漢字が好きになった児童が増加。漢字教育士としての活動に大いなる自信と勇気を得ることができた。国語の時間に教壇に立つ機会を与えてくれた児童と先生に感謝している。

